

基礎・応用期【筆記試験対策編】

2018年9月～本試験

教職教養対策

INPUT 180分×28回 OUTPUT 180分×13回

筆記対策だけでなく、人物試験で使える現場ノウハウが満載。

教職教養は筆記試験対策だけを目的とするのではなく、各テーマがどのように人物試験に発展していくのか、現場ではどのように活用されているのかを提示し、理解中心型学習を進めていきます。論文対策や面接対策に応用できる「使える現場ネタ」がふんだんに盛り込まれているので必見です。

教職教養講義26回

新学習指導要領講義2回

教職教養問題集解説13回

| 分野      | 講義回数 |
|---------|------|
| 教育原理    | 8回   |
| 教育法規    | 8回   |
| 教育心理    | 6回   |
| 教育史     | 2回   |
| 教育時事    | 2回   |
| 新学習指導要領 | 2回   |

●使用教材

テキスト 5冊

教育原理／教育法規／教育心理／教育史／教育時事

トレーニング 4冊

教育原理／教育法規／教育心理／教育史

| 分野   | 講義回数 |
|------|------|
| 教育原理 | 4回   |
| 教育法規 | 4回   |
| 教育心理 | 3回   |
| 教育史  | 1回   |
| 教育時事 | 1回   |

●使用教材

問題集 5冊

教育原理／教育法規／教育心理／教育史／教育時事

一般教養対策

INPUT 180分×17回 OUTPUT 180分×13回

教採の頻出論点をピックアップ。

一般教養は全分野を完璧にカバーすることは困難です。そのため出題可能性の高い分野に絞って学習を進めるのが賢い戦略です。TACでは限られた時間を効率的に使えるよう、全国の過去問を徹底分析し、膨大な学習内容から頻出論点をピックアップ。一般教養のインプット&アウトプットの負担を最小限におさえます。

一般教養講義17回

一般教養問題集解説13回

| 分野   | 講義回数 |
|------|------|
| 人文科学 | 4回   |
| 社会科学 | 6回   |
| 自然科学 | 6回   |
| 時事   | 1回   |

●使用教材

テキスト 4冊

人文科学／社会科学／自然科学／時事

| 分野    | 講義回数 |
|-------|------|
| 人文科学* | 3回   |
| 社会科学* | 4回   |
| 自然科学* | 5回   |
| 時事    | 1回   |

●使用教材

問題集 1冊

★専門教養(小学校全科)との共通カリキュラム

一般教養と小学校全科の出題範囲は部分的に重なります。重なる論点は共通カリキュラムとなっていますので、一般教養と小学校全科の両方を受講する場合も、学習内容の重複はありません。

専門教養対策

OUTPUT 180分×11～20回\* \* 教科により異なります。

演習ベースの実践型カリキュラム。

専門教養はスペシャリスト同士が競うハイレベルな試験です。合格ラインに到達するためには、早い時期から本試験レベルの良質な問題に多く触れ、とにかく早く先頭集団に入ることが大切です。TACでは問題集ベースの実践型カリキュラムで効率よく実力UPを目指します。

小学校全科問題集解説20回

中高国語問題集解説17回

中高社会問題集解説17回

中高数学問題集解説17回

中高理科問題集解説17回

中高保健問題集解説11回

中高英語問題集解説17回

特別支援問題集解説13回

養護教諭問題集解説15回

インプット講義から始めることはせず、先に演習から取り組みます。できるところは後回し、できないところを徹底的にカバーすることで効率よく演習を回すことができ、自然とスピードと得点力が向上していきます。

問題集を解いてみる

解けた

解けなかった

講義・解説を受ける

2回転目に挑戦する

まずは実力を知るために一度全問を解いてみてください。

解けなかった問題をチェックし、該当分野の解説講義で解法テクニックを確認します。

2回転目に挑戦し正答率を上げていきます。

●使用教材

問題集 各1冊

小学校全科※／中高国語／中高社会／中高数学／中高理科／中高保健／中高英語／特別支援／養護教諭

●頻出問題・重要問題をテーマ別に収載

●教科に関する問題はもちろん、学習指導要領や教科指導法まで幅広い範囲をカバー

※小学校全科は国社数理英の分野は一般教養問題集を使用して学習します。

県別対策

INPUT 180分×7～8回\* \* 自治体により異なります。\* 第1回と第8回は90分です。

自治体別に出題傾向と対策のポイントを解説。

教員採用試験は、自治体ごとに実施されるため、試験内容だけでなく、出題傾向も大きく異なります。TACの県別対策では、筆記試験と人物試験それぞれの出題傾向や対策のポイントをわかりやすく解説します。

北海道エリア  
北海道・札幌市  
7回

宮城エリア  
宮城県・仙台市  
7回

埼玉エリア  
埼玉県・さいたま市  
7回

千葉エリア  
千葉県・千葉市  
7回

東京都  
7回

神奈川エリア  
神奈川県・横浜市  
川崎市・相模原市  
7回

愛知県  
7回

名古屋市  
7回

京都府  
7回

京都市  
7回

大阪エリア  
大阪府・大阪市  
堺市・豊能地区  
8回

兵庫県  
8回

神戸市  
8回

広島エリア  
広島県・広島市  
7回

福岡エリア  
福岡県・北九州市  
7回

福岡市  
7回

過去問は、限られた時間の中で効率よく学習を進めていくための手がかりです。過去問の正確な分析と理解が学習全体の効率を大きく向上させます。当カリキュラムでは、過去問を熟知した講師が頻出・重要論点を解説しながら、自治体別に高得点・高評価に直結する対策のポイントを示します。

| 講義回 | 内容          |
|-----|-------------|
| 1   | オリエンテーション   |
| 2   | 教職教養 過去問解説1 |
| 3   | 教職教養 過去問解説2 |
| 4   | 人物試験解説1     |
| 5   | 教職教養 過去問解説3 |
| 6   | 人物試験解説2     |
| 7*  | 教育時事・教育施策解説 |

県別対策 受講者限定

県別論文添削 無制限

志願書・指導案添削 無制限

\* 大阪エリア、兵庫県、神戸市は全8回のカリキュラムとなります。第8回で取扱う内容は以下の通りです。【大阪エリア】他自治体では出題のない「数的処理」、【兵庫県】教員採用試験では出題の珍しい「情報処理」、【神戸市】例年3問程度出題される、環境・情報・社会などの一般教養(時事)。

\* 第8回の講義は先行して配信されることがあります。

●使用教材

テキスト 各1冊／人物ナビテキスト(全自治体共通)

受験した5つの自治体すべて1次突破！

筆記対策ではたくさん覚えることがあり、また記憶を持続させなければならぬことが大変でした。克服法としてTACの講義を繰り返し視聴しました。そのうち講義を見なくてもテキストを見れば先生の説明が思い浮かぶようになりました。講義は覚え方や全国の過去問を分析した頻出キーワードが満載ですので必見です。



森田 光 さん

神戸市 小学校全科／  
滋賀県 小学校全科

TACはすべてがよかった！

といたいところですが絞ります。まず県別対策がよかったです。講義や教材がすべて受験先の出題傾向をもとに構成されていたので重宝しました。また問題集解説もよかったです。本屋に行けば問題集は売っていますが、それは解いた後解説を読んでも納得しない場合が多々あります。しかし、TACでは解説講義があり、解説が丁寧でよく理解でき、時間の省略にもつながりました。



石坂 隼太 さん

埼玉県 小学校全科